

ペガサスキャンドル株式会社

原料の内製化によるコスト削減と新製品の開発を推進

製造室の設置と設備の導入



■ 価格競争への対抗とともに、オンリーワンの製品づくりを目指す

「キャンドルのある生活文化の創造」を提唱するペガサスキャンドル株式会社。昭和9年創業の同社は、輸出用やウエディング用のキャンドルの開発・製造を通じ、国内屈指のキャンドルメーカーに成長。人々のニーズを的確にとらえ、結婚披露宴やパーティ、葬儀などのセレモニーから日常生活まで、シーンに応じた多彩なキャンドルを提案している。デザイン・品質面で特に厳しいウエディング業界のキャンドル製造で培った技術をもとに、安心と信頼のもののづくりを実践。商品開発から試作、製造、品質検査、出荷まで自社で一貫して行っている。

その一方で、キャンドルの灯りで食事を楽しむ「キャンドル卓渡邊邸」を倉敷に開店したほか、東京・青葉台にウエディングのトータルコーディネートを提案するショールームを開設するなど、キャンドルの持つ魅力と可能性を積極的に発信。平成29年には同社のブランド「倉敷製蠟」の「CARD CANDLE」が、DESIGN TOKYO大賞2017グランプリを受賞した。同社では海外製品との価格競争や原料の高騰などに対抗すべく、原料の内製化とオンリーワン製品の開発を推進。そのための製造室を作り、必要な設備を導入した。

導入背景

低価格品の増加と原料の高騰

同社では固成型と顆粒状の原料を仕入れ、固成型は融解して型に流し込んで成形し、顆粒状はプレス加工で製品化する。市場では海外製の低価格品の増加により価格競争が激化し、さらに顆粒状の原料が高騰したことで、プレス加工製品の製造に支障が生じている。固成型原料をもとに顆粒状の原料を内製化することで、品質向上や価格競争への対抗、新製品の開発に繋がる。

実施内容

内製用の製造室と設備を設置

工場内の物置を撤去し、製造室のブースを建設。造粒機は海外製を現地で注文し、カスタマイズしたものを導入。併せて調合や攪拌などを行う溶解槽3基を設置した。液化した原料を造粒機に送り込み、顆粒状に加工してストックする。室内の温度と湿度を一定に保つことが重要で、そのための設備を導入した。造粒機は自己負担で、製造室の建設に係る付帯設備を補助金で賄った。

事業成果

内製化でコスト削減を達成

固成型原料を使用して顆粒状の原料が内製できるようになり、目標通りプレス加工製品のコスト削減を達成することができた。プレス加工製品は量産品が多いため価格競争が激しいが、対抗できるようになる。



企業から一言

コスト削減を達成し、次はオンリーワン製品の開発実現へ

顆粒状の原料を内製化する目標は、コスト削減とオリジナルブレンドによるオンリーワン製品の開発でした。内製化の製造過程では、粒の形状の変化で従来品の形と重さが変わるという問題が発生しましたが、プレス加工機の調整で無事解決しました。コスト削減の目標は達成できたので、次はオン

リーワン製品の開発です。独自の香りや溶け残りが少ないといった品質にこだわり、長く家庭で愛される付加価値の高い製品の開発が目標。そんな製品を通じて、キャンドルが身近に感じられる生活文化の創造に努めます。

製造開発部部長 倉敷工場長 園山 真司



事業者の概要

代表者名	井上 隆夫
設立年月	昭和25年1月
所在地	〒710-0807 岡山県倉敷市西阿知町1320-5
TEL/FAX	TEL.086-465-1035 FAX.086-466-1139
URL	http://www.pegasuscandle.com/
資本金額	5,000万円
従業員数	110人
業種	化学工業(ろうそく製造業)
事業計画名	プレス成型品の原料配合変更による品質向上とコスト削減